

学習支援部

教務系

1 業務内容

(1) 企画

学校教育計画・年間行事計画・教育課程

(2) 学事

指導要録等諸帳簿管理・各種台帳作成管理・転出入関係書類管理・通知表
卒業証書発行・修了者名簿作成・シラバス管理

(3) 庶務

学校要覧・教科用図書・出席簿・学校日誌・各教科会小学部会

2 今年度の活動計画等

(1) シラバス作成と改善（小学部、中学部、高等部）

(2) 指導要録等帳簿管理及び整理、通知表及び出席簿、学校日誌管理

(3) 学校教育計画・学校要覧の作成

(4) 転出入関係書類管理

(5) 教科書係会・各教科会・小学部会の運営

(6) 教務内規の作成

3 今年度の主な活動実績

(1) 新教科書に対応したシラバスの作成及び改善等と府教委への提出（小学部、中学部、高等部）

(2) 長期休業中等を利用したの管理と整理（年度ごとの保管と廃棄分の処理）

(3) 学校教育計画・学校要覧を年度初めに毎年作成

(4) 書類管理と処理について、業務軽減と紙資源節約に向けての業務改善

(5) 各会における業務内容の整理とサポート

(6) 内容の改訂と整理（指導要録、出席簿、学校日誌、各種書類作成手順等）

進路指導系

4 今年度の活動

(1) 教科会・成績判定会議の実施スケジュール

第1回	4月2日	各教科で評価の付け方を確認。傾斜配点を決定。
第2回	7月12日	1学期の評定（全学年）を確認。
第3回	12月5日	3年生の進路評定を確認。
第4回	12月16日	1・2年生の2学期の評定を確認。
第5回	2月3日	2/14在籍の3年生の進路評定を確認。
第6回	3月14日	3/31在籍の1・2年生の学年末の評定を確認。

- ・第1回の会議で、各教科で、評定の付け方や傾斜配点を確認、決定した。
- ・第2回教科会を実施した日は、各部署の中学部は午前授業とした。第3回以降は、当日までに各教科で教科会を実施し、成績判定会議のみを行うこととした。
- ・教科会を円滑に進めるために、事前に各教科、各部署で成績評価シートを確認するようにした。

I 校務分掌

(2)進路希望調査

地域校との連携のため、秋ごろに刀根山支援学校に在籍する中学部 3 年の生徒には進路希望調査を行った。進路希望調査を取ることで、各生徒の進路希望先を把握することができ、地域校と円滑に連携することができた。

(3)進路内規について

昨年度に引き続き進路内規を活用して教科会、成績判定会議、中 3 生徒の逆交流などを実施した。

(4)年間成績記録の作成

刀根山支援学校で教科会および成績判定会議で成績をつけた生徒の評定についてまとめておく年間成績記録を今年度も活用した。

(5)進路指導主事の活動について

定期的に行われる支援学校部会やブロック会議に参加し、他校の進路指導主事と情報共有を行った。

各分教室と進路指導についての情報共有を行い、必要な調整、情報提供や対応を行った。

今年度から大阪府の出願方法がオンラインに変更されたため、試行や準備、出願対応を行った。

5 中学部の進路指導（進路指導系）

(1)中学 3 年生への進路指導

各部署の進路指導担当は担当首席や室長、担任と情報共有し、地域校と連携を取りながら必要に応じた進路指導を行った。今年度は、3 学期の出願期間にかかる進路指導対応が複数の分教室で必要となり、管理職とも相談しながら対応した。

(2)卒業生への進路指導

昨年度の卒業生が他県の支援学校を受検するため、管理職、室長、前年度の授業担当者と連携し、出願対応を行った。

(3)進路講話

滝井分教室で進路講話「ようこそ先輩」という授業を実施することができた。以前病院に入院していた卒業生をゲストとして迎え、入院中の思い出や現在の進路を選んだ思いなどを話してもらったり、在校生からの質問に答えてもらったりした。

精神分教室で行われたパッケージ研修の一環として進路講話を実施。学校運営協議委員の山田亨氏より、高校進学、面接、仕事と勉強についてなどの話を聞くことができた。

(4)「進路の手引き」の改定

今年度は資料や文言を一部改定した。今後にも必要に応じて改定を加えていく。

6 高等部の進路指導

(1)進路指導について

今年度は高等部の在籍生なし。

卒業生の進路情報を在籍時の担任や授業担当者から入ったものについて情報共有を行った。